

# NPO 法人 都市災害に備える技術者の会

## ニューズレター issue 38



都市災害に備える技術者の会事務局：〒651-1432 兵庫県西宮市すみれ台3-1（太田ジオリサーチ内）  
TEL:078-907-3120 FAX: 078-907-3123 e-mail: office@toshisaigai.net http://www.toshisaigai.net

「都市災害に備える技術者の会」に入会して  
松川康夫(まつかわ やすお)

奈良県高市郡高取町在住の松川康夫と申します。よろしくお願ひします。

現在 71 歳、元奈良県職員で下水道や環境部門の技術職員でした。この時に技術士上下水道部門をとりましたが、現役を離れての技術士の賞味期限は 3 年ぐらいで、現在は技術士としての実力や活動歴はありません。1 級土木施工管理技士や防災士の資格についても同様です。

前期高齢者の年齢になっていますが、ボケ防止のために「技術士会近畿本部」の各種例会やその他の講演には時々参加させていただいています。

伊藤理事長とは元奈良県職員の時に仕事でお付き合いさせていただいており、30 年以上の知己であります。このような縁で「都市災害に備える技術者の会」の講演は伊藤理事長からの案内で既に何回か参加させていただいていましたが、無料参加では厚かましいので今年正式に入会させていただきました。

この 2 年間は自治会の役員で多忙でしたが、元行政職員であったことから、防災についての関心は地元地域で何か役に立てないか、といったことです。「都市災害に備える技術者の会」の WG-D のメンバーや、「技術士会近畿本部防災研究会」の西濱さん達はこの方面の経験が豊富と思いますので、何かとご教示いただけるものとありがたく思っています。

す。

今回、地元高取町での防災状況について紹介してみたいと思います。町行政主体の取り組みはないようです。「奈良県安全安心まちづくり推進課」の出前講座の「防災学習会」が数年前高取町社会福祉協議会主催で行われました。最近では「奈良県県土マネジメント部」の「土砂災害避難訓練」が高取町内の 2 地区で行われました。奈良県行政は県内各市町村への出前講座としてこのような活動を行っていますが、高取町が主体的に防災行政を行う意欲やノウハウは乏しい、と私は感じています。

奈良県シニアリーダーカレッジ研修生で立ち上げた「自主防災活動研究会」がありますが、素人の仲間集団で、実力はありません。

防災対策は地域特性に応じた対策が必要だと思ひます。一般的には防災活動というと地震対策に重点が置かれていますが、高取町では、津波リスクはゼロ、地震リスクも阪神地区や紀伊地区よりも低い、と思ひます。高取町の地形は山裾の中山間地なので、比較的高いリスクは土砂災害で、奈良県主催の「土砂災害避難訓練」は良い防災訓練だと思ひます。しかし最も高いリスクは火災です。高取山に向かって高取城下町の街道筋に古い木造家屋が連担（町屋の雛巡りで有名）しており、山に向かって炎が吹き上がる危険が懸念されます。これに対する高取町の水道の能力が貧弱なのです。10 年程前平坦部の家屋で火災があり複数の死者が出ましたが、この時放水が弱くて消火が遅れました。昔のままの町

の給水能力が貧弱だったのです。火災に対する防災対策が高取町ではもっとも重要だと思いますが、有効な対策や情報はどこにあるのでしょうか？

平成 28 年度総会  
および第 44 回防災講演会 (7/9)

平成 28 年度総会は、7 月 9 日 (土) 13 時～13 時半に、こうべまちづくり会館 (神戸市元町) で開催され、議案はすべて承認されたことをご報告いたします。

今後の NPO の活動として、一部はすでに始まっている①自治体のネットワークづくりの活動、②災害後の活動を行う上での会員のキャリアシートづくり、及び③法律検討グループの活動などについても参加会員からさらに進めるべきと意見が出されました。

その後、防災講演会を開催しました。

防災講演会：『「避難行動疑似体験教材

EVAG」による地域防災の課題抽出』

講師：国土防災技術(株) 眞弓孝之氏

防災講演会参加者は約 20 名でした。5 つのテーブルに参加者が分かれゲームが開始されました。テーブルの違いは住む地域の違いになっており、災害の発生の仕方が異なるようになっています。そして、カードを引いて、そこに書かれている人物の立場で、その後の行動を徐々に深刻化する 4 つのステップで選択するというものでした。

「人物」には、お年寄りから子供まで、また日本語の話せない外国人や、怪我をしていて動きにくい人もいました。

そういう仮想の状況下で、近所のコミュニティの重要さがわかるような教材となりました。

クロスロードのようなゲームは「自助」の重要性がわかるようになっていますが、EVAG は「共助」あるいは「近助」の重要性を認識できるようになる教材でした。

その後有志による懇親会が南京町で行われました。

防災講演会の様子の写真



講師の眞弓孝之氏



受講生の様子



問題の分類・解決方法の発表

第45回防災講演会（10/15）のご案内  
『新たなステージに対応した防災・減災の推進  
について～水防災意識社会の再構築～』

講師：京大防災研 多々納裕一教授

NPO 法人都市災害に備える技術者の会では、防災講演会を下記のとおり開催いたします。

日時：2016年10月15日（土）13時半～16時半、場所：ドーンセンター（大阪市中央区）

今回は京都大学防災研究所社会防災部門教授の 多々納裕一氏をお招きしてお話をさせていただきます。

多々納先生のご略歴は、以下の通りです。

1961年島根県出雲市生まれ。京都大学大学院工学研究科修了後、島根県土木部技師に。1988年に鳥取大学工学部助手、1993年に同助教授、1998年に京都大学防災研究所助教授、2003年同教授に就任。現在に至る。

○研究の主なテーマ

「総合防災学」の確立に向けて、その一分野である「災害の社会経済的影響評価と災害リスクの軽減のための意思決定の方法論に関する研究」

○著書

総合防災学への道（共著、京都大学学術出版会）他

## 事務局 だより

◆ニューズレターのバックナンバーは、ホームページ ([http://toshisaigai.net/newsletter/newsletter\\_index.html](http://toshisaigai.net/newsletter/newsletter_index.html)) にアップロードしています。

◆ワーキンググループ活動の例会の案内は、ホームページにも掲載しますので、ご興味のある方は参加してください。

◆あらためてご案内いたしますが、振替用紙が届きましたら 2016 年度会費の納入をよろしく願いいたします。（正会員 5000 円です）

郵便局 00990-1-162816 加入者名 都市災害に備える技術者の会

三井住友銀行 藤原台支店 普通預金 7566003 特定非営利活動法人 都市災害に備える技術者の会

（2年間連続で未納の場合、自動的に退会扱いとなりますのでご注意ください。）

◆住所変更・メールアドレス変更等はできるだけ早く事務局にお知らせください。

書式等は、ホームページ <http://toshisaigai.net/join/join.htm> にあります。

◆メーリングリストが届かない方は、事務局までお知らせください。またメーリングリスト不要の方は、毎月初めに届くメーリングリスト備忘録に従って登録を外してください。

◆研修会講師の心当たり、あるいは研修内容の希望がありましたら、事務局（[office@toshisaigai.net](mailto:office@toshisaigai.net)）までお知らせください。

◆ニューズレターの原稿を随時募集いたします。お気軽に事務局までお送りください。